

■鹿行には誇れる野菜産地がいっぱい！

■旬の苺をご賞味ください～「JA ほこた苺部会」「JA なめがた玉造いちご部会」

茨城県は、昭和 57 年から、高品質で市場に高い評価を受けている野菜産地を「青果物銘柄産地」に指定しています。茨城県の 49 産地の中、農業の盛んな鹿行地域には 18 もの産地が指定されています（平成 28 年 1 月現在）。このページでは、各産地での特色ある取組みや野菜にまつわる話を提供していきます。

初回は、旬を彩るイチゴを紹介します。

イチゴといえば栃木県が有名ですが、茨城県は、平成 25 年に栽培面積が第 7 位、産出額でも第 8 位の上位を占めるイチゴの生産地で、首都圏を中心に販売されています。イチゴは、鉾田市の「JA ほこた苺部会」と行方市の「JA なめがた玉造いちご部会」が銘柄産地になっています。

JA ほこたでは、「とちおとめ」が約 36ha 栽培されています。中でも、完熟で減農薬・減化学肥料で栽培された生産者限定イチゴが、金シールが目印のオリジナルブランド「なだろう苺」として、鉾田市の直売所「なだろう」で販売されています。

JA なめがたでは、約 7ha が栽培されています。主力品種「とちおとめ」に加えて、茨城県が育成した「いばらキッス」も栽培されています。濃厚な甘さと酸味が特徴で、“一度食べたら、もう一度食べたくなる”というファンも！

昨年 12 月には、当部会と小美玉市の生産組織で「いばらキッスブランド研究会」が発足。研究会が生産した、大きくて甘い「特選いばらキッス」は三越日本橋店、銀座店や高島屋日本橋店で販売されています。

鹿行の苺を是非、ご賞味ください

〔平成 28 年 2 月 1 日〕



県作成のいばらキッス PR チラシ



JA ほこたのとちおとめ